

2020 年 4-6 月期以降に用いる X-12ARIMA スペックについて

1. 琉球大学 高岡先生の検証

- (1) ARIMA モデルの選択にあたっては改訂される可能性のない確報値を用いることが適切であることから、現在使用できる最新のデータである 2019 年 10-12 月期までの系列に基づくモデルの選択の結果を行っている。
- (2) 2019 年 10 月の消費税率引上げの影響については、AIC が現行モデルより改善され、t 値が明確に有意であるといった結果が得られなかったことから、AO ダミーを入れたモデルは選択されていない。
- (3) 10 系列のうち 8 系列で現行モデルが最適モデルとして再度選択される結果となった。一方、「営業利益（非製造業）」及び「設備投資・ソフトウェア（非製造業）」の 2 系列は AIC が最小となるモデルを選択した結果、ARIMA モデルが変更となった。

2. 事務局からの提案

- (1) 高岡先生の検証結果に基づき、「営業利益（非製造業）」及び「設備投資・ソフトウェア（非製造業）」の 2 系列について ARIMA モデルの変更を行うこととしたい。
- (2) 新型コロナウイルス感染症の影響を確認するため、2020 年 7-9 月期調査結果公表後に ARIMA モデルの検証を行うこととしたい。
- (3) 現在平均乖離幅の上限を系列ごとに設定しているが、今後その妥当性について検討を行うこととしたい。

以上